



おかむら通信 183号

令和2年7月号



<ご挨拶>

A 生きるとは、何なのでしょう、ながい人類の歴史で皆様が生きるのはそのなかでほんの一点。地球上で、どの国に生まれるかは、神のみぞ知る？ じゃあどのように生きていきたいですか？ つまり、ひとりひとり簡単なものでいいので「哲学」をおもちになったほうがいいのではないのでしょうか？
いつときも止まったことのない戦争／世界中どこかで殺し合いがおこっている、どうにかならないのでしょうか？ 世界中、この国も含め何かおかしい、、、今、おそらく我々に欠けていること：他人と、より積極的に議論し、尊敬しあい愛するという事、あらゆることについて自分で考えること、うつつに流されないこと。外（そと）の概念、つまり島国にとどまらないこと、自分の知らない世界へでて、広く学問、芸術と接し、様々な人の（人種の）生き様をみ、その土地、自然に飛び込み、また生きとし生けるものと共に生き、小さな自分を自覚する事。いかがでしょう。

B 当院で、訪問診療を受け付けています。様々な事情で、来院できなくなられた方々、患者さん、相談を受けます。いま何人か始めています。

C これから熱中症が出現するでしょう、ご自分の調子がすこしでもおかしくなったら、私たちに連絡してください。

D 新型コロナウイルス感染 がかなり心配になってしまわれた方のためにまず当院に相談ください、明らかに感染が疑われる場合をのぞき、胸部CTと酸素飽和度測定により、判断します。もちろんどんな場合でも、病状の悪化、進展がうたがわれたら、即病院紹介をいたします。



<今月の言葉>

新型コロナと戦ってはいますが、一方、地球温暖化によって何世紀もの間深氷の地下に潜んでいたウィルスや細菌がでてきて、世界の人間の命をおびやかしはじめています。愚かな人間の身勝手な行為によるものです。

*院長より

1 またまた、この国では、PCR検査をするのにブレーキがかかっています。いまだに、何なのでしょう。





我々医師としては、医師でなくとも、巷のコロナ感染の実情をまずしるところから医療が、始まります。ちなみにアメリカ大リーグでは選手に週 2 回以上の PCR 検査を、開幕してから行う予定です。

2 今、当院では「精神科の病院」、こころから患者さんの立場になって診察してくれる病院を探していました。一つ見つけました。 当院では、満足できない場合、ご紹介します。

3 いつも言っておりますが、病気のほとんどは、自覚症状がないときに始まっています。院長の考えですが、病気は発生する背景、資質、こころ、仕事場、教育環境等の因子が存在し、いくつかの出来事、ストレス（精神面以外も含め）が複数加わって、。

それをできるだけ早い時点で見つけ、対処するのです。

4 最近再び、突発性難聴の方々の話をよく聞くようになりました。一連の治療で治りが悪かったら、ぜひ、神経ブロックをしてください。早ければ早いほど、かなり回復します。他の医療機関でもしできなかつたら当院でやります。

5 ☎でんわ診察、やっています。 当院では初診以外の患者さんに、どうしても当院に来院できない事情のあるかたに行っています、医師が受付順に電話をかけなおし、病状等をお聞きすることで判断し、診断し、投薬など行います。

6 冒頭でお話ししましたが、5月から「訪問診療」が始まっています。ご来院の方はお知らせください。お家でも外来でやるような雰囲気でおこないます。

7 最近またまた、自宅での血圧記載、お願いできますでしょうか？そんなに几帳面につけなくてよいです。一日おきとか、好きな時間、、、 OKですよ。

8 運動をしましょう、コロナとの戦いをしている間に、いつの間にか肥満になったり、精神的にまいったり、以下の病気が（糖尿病・高血圧・腎機能・全身動脈硬化・肺疾患・肝とすい臓病変など、、）が知らず知らずのうちに進行してしまわないように。自分なりのスクワットを日に 50 回とか決めて！

<6月の院長の活動>

15/（月）当院カンファレンス、コロナ禍をどう乗り切るか、について

25/（木）松戸中央 RC



7月に入りますます湿度も高くなり
体調管理が難しくなっていますね。
水分や食事をきちんと摂って、よく眠る。
それはそれが体を丈夫にする大切なことと
思っています。しむとりが自身の体調を
気づからずで「日でも早く平穏な日常に
戻れる様にかんがひましょう。 担当石原

